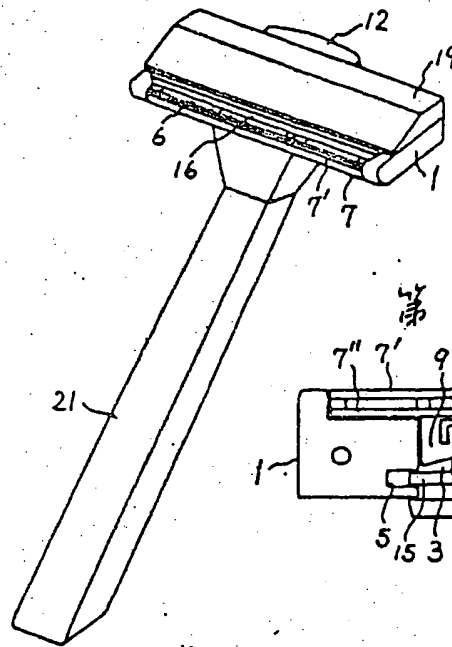
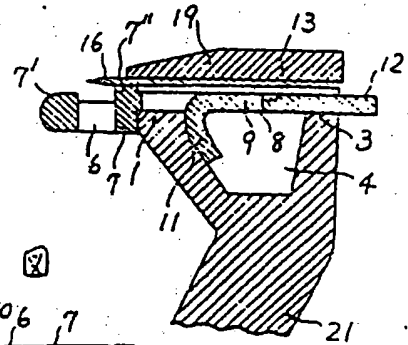


英開 招 54-13784(2)

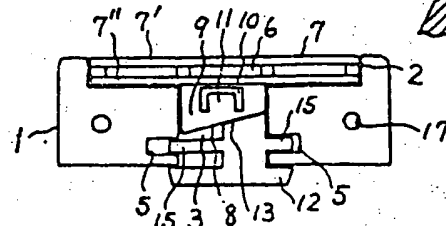
第 1 圖



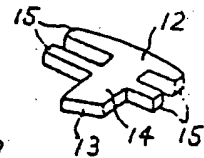
第 2 圖



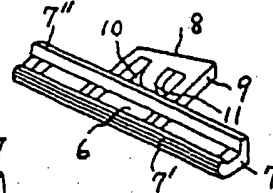
第 3 圖



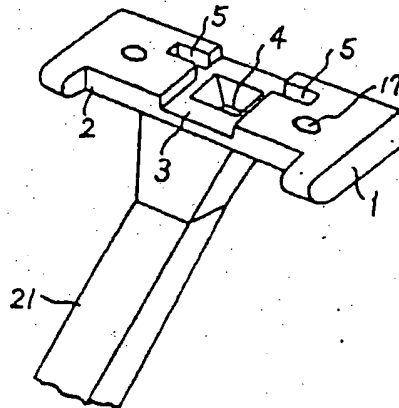
第 6 圖



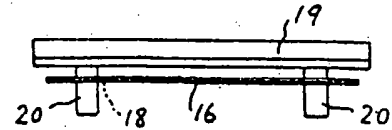
第 5 圖



第 4 圖



第 7 圖



⑨日本国特許庁
公開実用新案公報

⑩実用新案出願公開

昭54-13784

Int. Cl.³
26 B 21.16

識別記号

⑪日本分類
125 G 22庁内整理番号
7041-3C

⑫公開 昭和54年(1979)1月29日

審査請求 有

(全 2 頁)

T型7ミソリ

出願 昭52-87201
出願 昭53(1977)6月30日
発明者 斎藤達也

開市千年町2丁目5番地

出願人 株式会社貝印刃物センター

開市千年町2丁目5番地

代理人 弁理士 石田晋一

⑬実用新案登録請求の範囲

刃台部1の前後部に切欠部2を形成し且つ中央部に前後部コした切欠溝3を形成して該切欠溝3内に嵌入凹孔4を穿設し且つ切欠溝3内の後部両側に鉄挿溝5、5を形成し、かす取り孔6を有する調節板7の中部中央に斜状後端面8つき揺動突部9を突設し該突部9の割込み10内に下向きの弾力部11を設けて、調節板7を切欠部2内に嵌入し且つ揺動突部9を切欠溝3内に嵌挿し弾力部11を凹孔4内に嵌入して調節板7を後方引張り状態で刃台部1に装着し、別体の操作板12に斜状前端面13を有する作動板14を突設してその途中両側に横溝部15、15を設け、該横溝部15、15を鉄挿溝5、5内に嵌挿し斜状前端面13を斜状後端面8に当接せしめて操作板12を中央切欠溝3内から後方に突出状態に装着し、

刃体16を調節板7と刃台部1上に通孔17、18を合致させてセットし刃押え板19の契孔20、20を合致孔に挿入して刃体を矢張り固定して成るT型カミソリ。

⑭図面の簡単な説明

第1図は全体の斜视图、第2図は刃部の中央横断面図、第3図は刃体セット前の刃部の平面図、第4図は刃台部の斜视图、第5図は調節板の斜视图、第6図は操作板の斜视图、第7図は刃体に取りつけた刃押え板の正面図である。

主要符号、1は刃台部、2は切欠部、3は切欠溝、4は嵌入凹孔、5は鉄挿溝、6はかす取り孔、7は調節板、8は斜状後端面、9は揺動突部、11は弾力部、12は操作板、13は斜状前端面、14は作動板、15は横溝部、16は刃体、19は刃押え板である。